

25年9月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査1

1. 調査実施期間 平成25年 8月20日～ 9月10日

2. 調査実施方法

全国の構造用集成材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
9月分の回答企業数は5社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) ラミナ荷動き動向 Weight. D. I.

品目		25/9月	10月	11月
入荷動向	国産材	25.0	25.0	37.5
	外材	8.3	△ 8.3	△ 16.7
在庫動向	国産材	△ 25.0	△ 12.5	0.0
	外材	0.0	△ 8.3	△ 16.7

ラミナ入荷は、国産材はプラス基調で推移、外材は9月のプラスから10、11月はマイナスに。
在庫は、国産材は9、10月のマイナスが11月には横ばいに、外材は9月の横ばいから10、11月のマイナスに。

(2) ラミナ購入価格動向 Weight. D. I.

品目	25/9月	10月	11月
国産材	12.5	25.0	0.0
欧州材	50.0	50.0	8.3
その他	100.0	100.0	0.0

ラミナ購入価格は、国産材は9、10月のやや強含みから11月には保合に、欧州材は強含み、ないし強保合で推移。

モニターからのコメント

(ラミナ荷動き) ・入荷は国産材はラミナ在庫減少のため入荷増、外材は横ばい。 ・RWは予定通り予定入荷するようになった。在庫は良好。

(ラミナ価格動向) ・国産材は原料の取り合いで価格上昇。 ・欧州材は円安続き購入価格は更に上昇。

25年9月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査2

(3) 構造用集成材荷動き動向 Weight. D. I.

品目		25/9月	10月	11月
生産動向	国産材	12.5	25.0	25.0
	WW集成管柱	△ 16.7	△ 16.7	△ 33.3
	RW集成平角	△ 10.0	30.0	20.0
	米マツ集成平角	25.0	25.0	0.0
	WW集成平角	—	—	—
出荷動向	国産材	12.5	25.0	25.0
	WW集成管柱	25.0	0.0	△ 50.0
	RW集成平角	0.0	10.0	10.0
	米マツ集成平角	25.0	25.0	0.0
	WW集成平角	—	—	—

集成材生産動向は、国産材はプラス基調で推移、WW集成管柱はマイナス基調で推移、RW集成平角は9月のマイナスから10、11月はプラスに、米マツ集成平角は9、10月のプラスから11月は横ばいに。

出荷動向は、国産材はプラス基調で推移、WW集成管柱は9月のゼロから11月はマイナスに、RW集成平角は9月のゼロから10、11月はプラスに、米マツ集成平角は9、10月のプラスから11月には横ばいに。

(4) 構造用集成材出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	25/9月	10月	11月
スギ集成管柱	0.0	0.0	0.0
ヒノキ集成柱	0.0	0.0	0.0
ヒノキ集成土台	0.0	0.0	0.0
カラマツ集成土台	0.0	0.0	0.0
WW集成管柱	0.0	△ 16.7	△ 16.7
RW集成平角	10.0	0.0	0.0
米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
WW集成平角	—	—	—
米ヒバ土台角	0.0	0.0	0.0
カラマツ集成平角	—	—	—

集成材出荷価格は、スギ集成管柱、ヒノキ集成柱・集成土台、カラマツ集成土台、米マツ集成平角は横ばい推移、WW集成管柱は9月横ばいから10、11月はマイナスに、RW集成平角は9月のプラスが10、11月は横ばいに。

モニターからのコメント

(構造用集成材荷動き) ・国産材の出荷増で生産増。木材利用ポイントの影響もあるが全体的に市況が良い。

・RWは機械のメンテもあり生産を少し落とした。輸入製品が目立つ、荷動き鈍化の傾向あり。

(構造用集成材出荷価格動向) ・国産材は原料上昇分が価格転嫁できていない。RWは下げ提示している先も見られ、この先下がると予想。・RWは輸入品のダブツキ、他品目価格の下落もあり、現状維持。